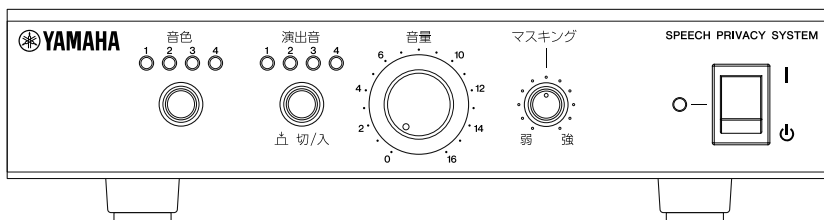




スピーチプライバシーシステム コントロールユニット VSP-CU2

取扱説明書(保証書付)



目次

はじめに

付属品をご確認ください.....	3
本製品を安全にお使いいただくために	3
追加情報について	3
著作権について	3
高調波規制について	3
安全上のご注意.....	4
「警告」と「注意」について.....	4
記号表示について	4
サポート規定（お客様サポートについて）.....	8
VSP-CU2 ができること	10
各部の名称とはたらき	12

セットアップ

1. スピーカーを接続する.....	14
スピーカーの接続	14
スピーカーケーブルの接続.....	16
2. 電源コードを接続して電源を入れる.....	17
3. 音量を調整する.....	18
4. マスキング比率を調整する	18
5. 音色／演出音を選択する	18
6. 設置する	20
スピーカーの取り付け位置・向き	25
スピーカーの取り付け位置による EQ 設定について	26

付録

設定をロックする（ロック機能）.....	27
ロックをかけるには	27
解除するときは.....	27

その他

故障かな？と思ったら	28
お問い合わせになる前に	28
ランプ類に問題がある	28
音に問題がある.....	28
マスキング効果が得られない.....	29
主な仕様.....	29
サポート窓口のご案内.....	30
本製品の保守サービスについて	30

はじめに

ヤマハ VSP-CU2 をお買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や設定を行ってください。
本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。
本書はなくさないように、大切に保管してください。

付属品をご確認ください

VSP-CU2 (本製品) … 1 台
取扱説明書 (本書) … 1 冊
保証書 (本書 32 ページ)
電源コード … 1 本

本製品を安全にお使いいただくために

以下の点を必ず守ってお使いください。

■安全のための注意事項を守る

詳しくは、4～8 ページをご覧ください。

■故障したら使用を中止する

お買い上げの販売店にご連絡ください。

追加情報について

本書は、本製品の基本的な機能を説明するためのものです。
本製品の設置・活用等の事例を、追加情報としてヤマハ スピーチ プライバシー サイトに
順次掲載します。併せてご覧ください。

ヤマハ スピーチ プライバシー サイト

<https://sound-solution.yamaha.com/products/speechprivacy/vsp-2/>

著作権について

本システムで使用しているマスキング音はヤマハ株式会社の著作物であり、著作権保護のために特殊な処理が施されています。マスキング音を弊社の許諾を得ずに複製することを禁じます。

高調波規制について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

安全上のご注意

**ご使用の前に必ずお読みください。
必ずお守りください。**

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



「警告」と「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。

- この製品の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはサポート窓口にご依頼ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 保証は本製品の物損の範囲に限ります。予めご了承ください。

記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「～しないでください」という禁止を示します。
	「実行してください」という強制を示します。

警告 「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

電源／電源コード



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ストープなどの熱器具に近づけない
- 無理に曲げない
- 傷つけない
- 電源コードに重いものをのせない

感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源はこの機器に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。
また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。
故障、発熱、火災などの原因になります。
付属の電源コードは日本国内線用です。



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的に取り除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、火災の原因になります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、電源スイッチがスタンバイ状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。
電源プラグに容易に手が届き、操作できるように設置してご使用ください。



必ず実行

長期間使用しないとときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。

接続



必ず実行

電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。
確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。



必ず実行

- 接地接続は必ず、主電源プラグを主電源につなぐ前に行なう。
- 接地接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行なう。

電源コードには、アース線が付いています。必ずアース線を接地接続してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

分解禁止



分解禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはサポート窓口にご依頼ください。

水に注意



水ぬれ禁止

- この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。
入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店またはサポート窓口にて点検をご依頼ください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で本製品を扱わない。
感電や故障の原因になります。

火に注意



禁止

この機器の近くで、火気を使用しない。
火災の原因になります。

異常に気づいたら



下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 電源コード／プラグがいたんだ場合
- 製品から異常なおいや煙が出た場合
- 製品の内部に異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはサポート窓口にご依頼ください。



この機器を落とすなどして破損した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはサポート窓口にご依頼ください。

⚠️ 注意 「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源／電源コード



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置



不安定な場所に置かない。

この機器が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかげがをしったりする原因になります。



この機器の通風孔（放熱用スリット）をふさがない。

内部の温度上昇を防ぐため、この機器の天面／側面／底面には通風孔があります。機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



放熱のため、この機器を設置する際は、

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたんやカーペットなどの上には設置しない。
- 天面以外を上にして設置しない。
- 風通しの悪い狭いところへは押し込まない。

機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。本機の周囲に上 10cm、底面の下 1cm、左右 10cm、背面 10cm 以上のスペースを確保してください。



塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。



この機器を移動するときは、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々転倒したりするおそれがあります。

接続



必ず実行

- スピーカーと接続する場合は、電源を切った上で行なう。
- 電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量（ボリューム）を最小にする。感電、聴力障害または機器の損傷になることがあります。



必ず実行

スピーカーの接続には、スピーカー接続専用のケーブルを使用する。それ以外のケーブルを使うと、火災の原因になることがあります。

お手入れ



必ず実行

この機器のお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

この機器の表面の温度が高くなったときは、温度が下がるまで機器に触らない。温度が高いまま機器に触ると、やけどのおそれがあります。



禁止

この機器の通風孔／パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のサポート窓口にご依頼ください。



禁止

- この機器の上ののったり重いものをのせたりしない。
- ボタンやスイッチ、スピーカー出力端子などに無理な力を加えない。この機器が破損したり、お客様やほかの方々がかげがをしったりする原因になります。



禁止

接続されたケーブルを引っ張らない。接続されたケーブルを引っ張ると、機器が破損したり、かがをしったりする原因になります。

使用上のご注意

製品の故障、損傷や誤動作を防ぐため、以下の内容をお守りください。

製品の取り扱い／お手入れに関する注意

- ・テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- ・直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- ・この機器の上下にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルや上下に置いた製品が変色／変質する原因になります。
- ・電源コードはスピーカーケーブルから離して設置し、スピーカーケーブルは固定してください。スピーカーケーブルには大きな電流が流れるため、周囲に磁界が発生し、音響ノイズや電波妨害の原因になります。
- ・手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色／変質する原因になりますので、使用しないでください。
- ・機器の周囲温度が極端に変化して（機器の移動時や急激な冷暖房下など）、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。
- ・スピーチプライバシーシステム専用スピーカー（VSP-SP2）以外のスピーカーとは接続しないでください。故障の原因となります。
- ・設置の際は、ゴム脚を取らないでください。
- ・本製品に触れるときは、人体や衣服から静電気を除去してください。
- ・本製品を譲渡する際は、本書も合わせて譲渡してください。
- ・廃棄する際はお住まいの自治体の指示に従ってください。
- ・製品に強い衝撃を与えないでください。
- ・同一電源ライン上にノイズを発生する機器を接続しないでください。

サポート規定（お客様サポートについて）

ヤマハ株式会社は、お客様が本製品を快適に、またその性能・機能を最大限に活かしたご利用が可能となりますように以下の内容・条件にてサポートを提供いたします。

1. サポート方法

- ・FAQ、設置例等のWeb掲載
- ・電話でのご質問への回答
- ・カタログ送付
- ・代理店・販売店からの回答
ご質問内容によっては代理店・販売店へご質問内容を案内し、代理店・販売店より回答させていただく場合がありますので、あらかじめご了承のほどお願いいたします。
- ・お問い合わせ時に製番を確認させて頂く場合がございます。製番は本体の銘板シールに印刷されています。

2. サポート項目

- 使用方法、設置・設定について
- 製品の修理について
- 代理店または販売店のご紹介

3. 免責事項・注意事項

- 回答内容につきましては正確性を欠くことのないように万全の配慮をもって行いますが、回答内容の保証、および回答結果に起因して生じるあらゆる事項について弊社は一切の責任を負うことはできません。
また、本製品をご利用いただいて生じた個人情報の流出による損失や動作不良によって発生した経済的損失、その対応のために費やされた時間的・経済的損失、直接的か間接的かを問わず逸失利益等を含む損失およびそれらに付随的な損失等のあらゆる損失について弊社は一切の責任を負うことはできません。
なお、これらの責任に関しては弊社が事前にその可能性を知らされていた場合でも同様です。ただし、契約および法律でその履行義務を定めた内容は、その定めるところを遵守するものといたします。
- 質問受付対応、修理対応は生産終了後 5 年間行います。
- ご使用になる実環境での会話は、音量・音質・発声法等がさまざまで、また個々人の聴力には差異があるため性能保証は行っておりません。
- 期日・時間指定のサポート、および海外での使用、日本語以外でのサポートは行っていません。
- お問い合わせの回答を行うにあたって、必要な情報のご提供をお願いする場合があります。情報のご提供がない場合は適切なサポートができない場合があります。
- 再現性がない、および特殊な環境でしか起きない等の事象に関しては、適切なサポートが行えない場合があります。
- やむを得ない事由により本製品の返品・交換が生じた場合は、ご購入店経由となります。なお、交換、返品に際しましてはご購入店、ご購入金額を証明する証憑が必要となります。
- 製品の修理は代理店・販売店経由で受けさせていただきます。弊社への直接持ち込みはできません。また、着払いでの修理品受付はいたしておりません。
発送は弊社指定の通常宅配便（国内発送のみ）にて行わせていただきます。修理完了予定期間は変更になる場合がありますのでご了承のほどお願いいたします。なお、保証期間中の無償修理（無償例外事項）等の詳細規定は保証書に記載しております。
- 上記サポート規定は予告なく変更されることがあります。

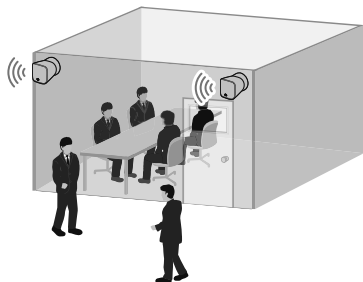
VSP-CU2 できること

本製品は、専用のスピーカー（VSP-SP2）を接続してマスキング音を流し、会話の内容を聞き取りにくくすることで、会話内容の第三者への漏洩や、周囲の会話による集中作業の効率低下を防止するための機器です。

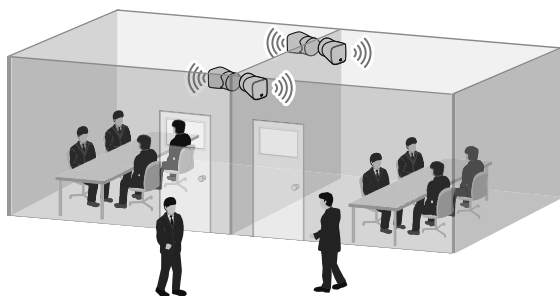
ヤマハ独自の情報マスキング技術により、ご使用環境の心地よさにも配慮した比較的小さな音でマスキングを行うことができます。

■利用シーン

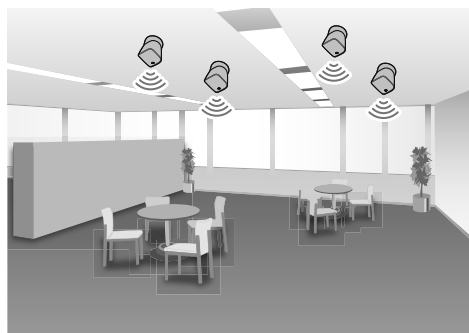
会議室で使用する（会議室から廊下へのマスキング）



会議室で使用する（会議室間のマスキング）



オープンスペースで使用する



■ヤマハの情報マスキング技術

情報マスキング技術の要はマスキング音です。マスキング音は、情報マスキング音・環境音・演出音の3つの音から構成され、カモフラージュの原理を応用して、会話の内容を聞き取りにくくします。

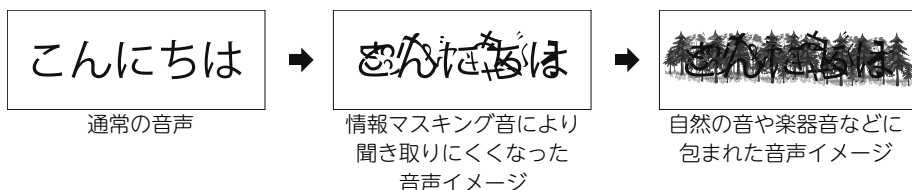
マスキング音が雑音ではなく、比較的小さな音量で効果が発揮できるため、人への不快感が少なくその場の雰囲気を損ないません。

■人の音声から作り出した情報マスキング音

マスキング音を構成するヤマハ独自の情報マスキング音は、人の音声を基に合成されているため、再生すると会話音声の中に溶け込み、何を話しているのか聞き取りにくくします。

■心地よさに配慮したマスキング音

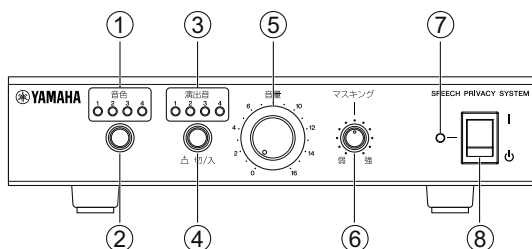
情報マスキング音に川のせせらぎや鳥の声といった環境音と楽器音や電子音といった演出音を組み合わせ、心地よさにも配慮したマスキング音を完成させました。マスキング音の音色は4種類あり、ご使用になる環境やお好みに応じてお選びいただけます。



※ 本製品は、会話の内容を完全に聞き取れなくするものではありません。声が大きければ聞こえ、また、声質・発声方法・設置条件（環境）等により効果は変わります。

各部の名称とはたらき

■フロントパネル



1 音色ランプ

選択された音色 No を表示します。(緑色)

2 音色選択ツマミ

音色を変更します。ツマミを右に回すと、1 → 2 → 3 → 4 → 1…の順で変更します。

メモ

ツマミは押すとスイッチの動作をします。操作としての機能はありません。

3 演出音ランプ

選択された演出音 No を表示します。(緑色)
演出音を切っている場合は「全消灯」になります。

4 演出音選択ツマミ

演出音を変更します。ツマミを右に回すと、1 → 2 → 3 → 4 → 1…の順で変更します。
演出音を切る場合はツマミを押します。
再度押すと再生します。(繰り返し)
切っている間はツマミを回しても反応しません。

5 メインボリューム

スピーカー出力の音量を調整します。

6 マスキングボリューム

再生音の中の情報マスキング音の比率を調整します。

7 電源ランプ

電源がオンのときに点灯します。(緑色)

8 電源スイッチ

電源をオン/スタンバイします。

⚠ 警告

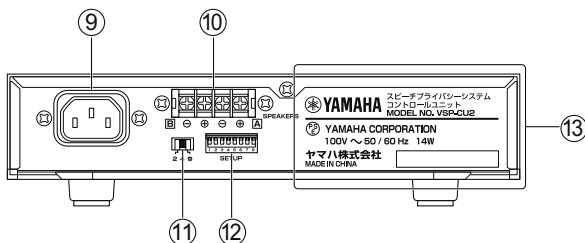
- 電源スイッチがスタンバイの状態でも微電流が流れています。
長時間使用しないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

注意

電源スイッチをスタンバイに切り替えると、再生していた音色と演出音が内部メモリに記録されます。

- 音色、演出音を切り替えたあと 10 秒間は電源スイッチをスタンバイにしないでください。10 秒以内にスタンバイにすると一部情報が保存されない場合があります。
- 電源スイッチをスタンバイにしてから再度オンする場合は、10 秒以上の間隔を空けてください。
- 電源スイッチのオン、スタンバイを連続して素早く切り替えると誤動作の原因になることがあります。

■リアパネル



9 AC インレット

電源コードを接続します。

10 スピーカー端子

VSP-SP2 を接続します。

11 スピーカースイッチ

接続するスピーカーの数を設定します。

2：接続スピーカー 2 個の場合

4：接続スピーカー 4 個の場合

歯車 (⚙)：使用しない

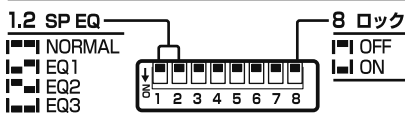


12 セットアップスイッチ

各種動作モードの設定を行います。

EQ 調整とフロントパネルロックを設定します。

SETUP



メモ

3～7のセットアップスイッチは使用しません。

13 機器名／製造番号

本製品の機器名と製造番号が記載されています。

注意

- 電源コードを接続するときは、最初に AC インレットに電源コードを接続し、次に電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。
- 電源コードを接続したり、取り外したりする前に、必ず電源スイッチをスタンバイにしてください。
- スピーカースイッチ (歯車 ⚙)、セットアップスイッチ (3～7pin) は設定しないでください。マスキングの効果が得られない可能性があります。

セットアップ

1. スピーカーを接続する

⚠ 注意

- ・スピーカーを接続する前に、本機の電源がスタンバイになっていることを必ず確認してください。オンになっていると感電するおそれがあります。

注意

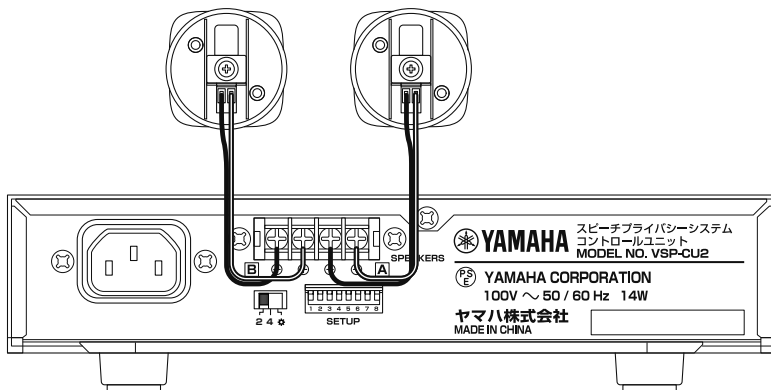
- ・スピーカーケーブルに荷重がかからないように設置してください。
- ・VSP-SP2 以外のスピーカーは対応していません。
接続するスピーカーはスピーチプライバシオンシステム専用スピーカー（VSP-SP2）をご利用ください。

メモ

- ・接続できるスピーカーケーブルの太さは、AWG20 (0.5mm²) ~ AWG16 (1.3mm²) です。

スピーカーの接続

■スピーカー 2 個接続の場合

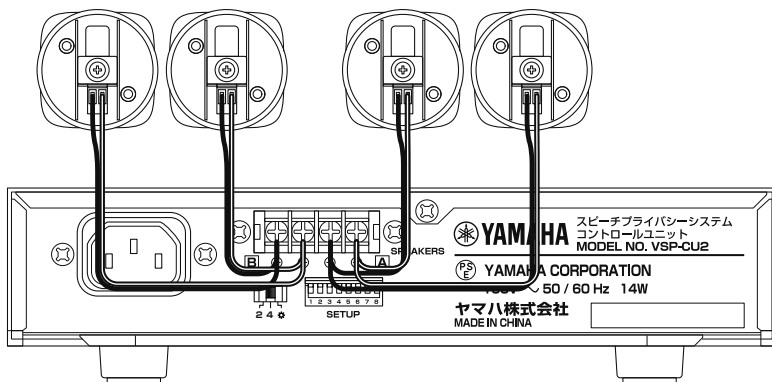


スピーカー端子 A、B に 接続スピーカー：2 個を
それぞれ1台ずつ接続する。 選択する。

1 スピーカースイッチを 2 個に設定する。

- 2 [SPEAKERS A] 端子と 1 台めのスピーカーの [+ / -] 端子、
[SPEAKERS B] 端子と 2 台めのスピーカーの [+ / -] 端子をスピーカー
ケーブルで接続する。

■スピーカー 4 個接続の場合



スピーカー端子 A、B に 接続スピーカー：4 個を
それぞれ2台ずつ接続する。 選択する。

1 スピーカースイッチを 4 個に設定する。

2 [SPEAKERS A] 端子と 1、2 台めのスピーカーの [+ / -] 端子、 [SPEAKERS B] 端子と 3、4 台めのスピーカーの [+ / -] 端子をス ピーカーケーブルで接続する。

注意

- 接続するスピーカーの数と、スピーカースイッチの設定が異なるとマスキングの効果が得られない可能性があります。
- スピーカーは必ず 2 個、4 個の構成で接続してください。

スピーカーケーブルの接続

リアパネルにある [SPEAKERS] 出力端子はバリアストリップタイプです。Y 型プラグを使った接続と、芯線がむき出しの場合の接続を説明します。

注意

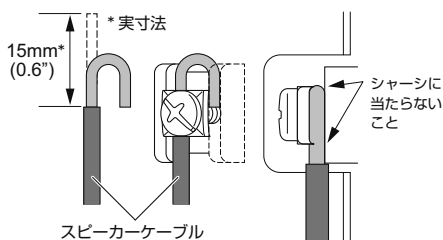
- スピーカーケーブルに荷重がかからないように設置してください。
- 接続するスピーカーは スピーチプライバシーシステム専用スピーカー (VSP-SP2) をご利用ください。

メモ

- アンプとスピーカーの+/- が一致するように結線してください。
逆にすると位相が反転するため、音が正しく出ません。

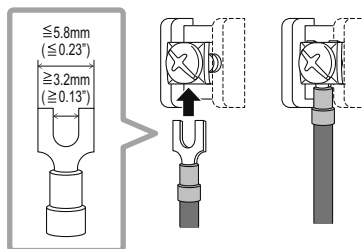
■芯線がむき出しの場合

ネジをゆるめ、芯線をバリアストリップ端子に巻きつけ、ケーブルが脱落しないようにネジを締め付けます。芯線がシャーシに当たらないように注意してください。

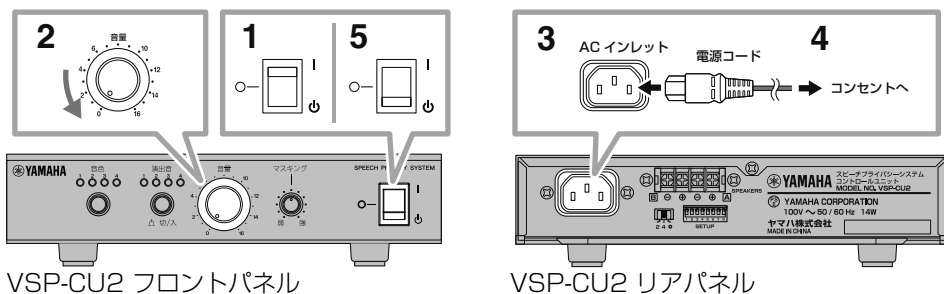


■Y 型プラグの場合

ネジをゆるめ、Y 型プラグを奥まで差し込み、プラグが脱落しないようにネジを締め付けます。



2. 電源コードを接続して電源を入れる



- 1 本機の電源スイッチがスタンバイになっていることを確認する。
- 2 メインボリュームを左いっぱいに戻す。
- 3 付属の電源コードをリアパネルの AC インレットに接続する。
- 4 電源プラグをコンセントに差し込む。
- 5 本機の電源スイッチをオンにする。

⚠ 注意

- 必ず日本国内 AC100V (50 / 60Hz) の電源電圧で使用してください。海外など異なる電源電圧で使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

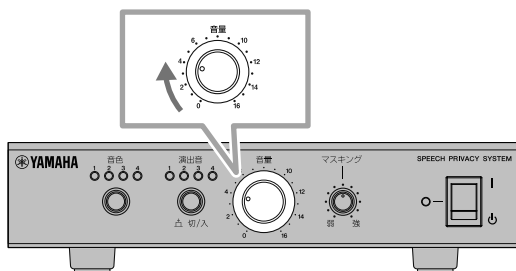
メモ

- 電源を入れる前に配線などに問題がないか確認してください。
- 電源を切っても、前回の設定状態で再生が可能です。

3. 音量を調整する

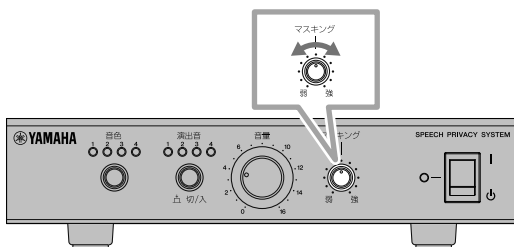
最適音量は声の大きさ・ご使用環境・設定条件等で異なりますので「6. 設置する」(20ページ)をご参照の上、調整してください。

1 メインボリュームで音量を設定する。



4. マスキング比率を調整する

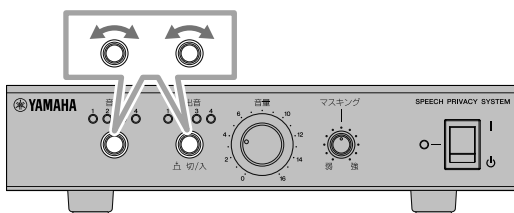
マスクングボリュームで情報マスクング音の再生比率を調整します。「弱」の位置にあわせると環境音だけが再生され、「強」の方向に回すにしながら情報マスクング音の比率が高くなります。マスクング比率を調整しても、全体の音量は変わりません。



5. 音色／演出音を選択する

音色と演出音は4種類ずつ用意されています。使用環境に合わせ、お好みの音色と演出音を選択してください。

1 音色選択つまみ、演出音選択つまみを回す。



■音色とは

各音色には、森の音や水の音など快適な環境をつくるための環境音が組み込まれており、情報マスキング音のマスキング効果を補完します。

音色 No.	音色
1	森の音
2	川のせせらぎの音
3	都会の雑踏の音
4	室内空調の音

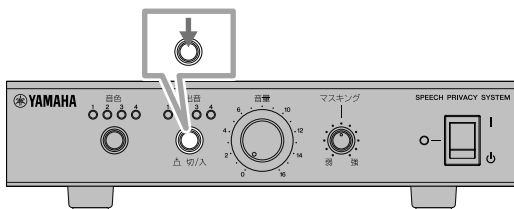
■演出音とは

楽器音や電子音など環境音に味付けする音で、会話から気をそらす効果もあります。

演出音 No.	演出音
1	ギター
2	ピアノ
3	オルゴール
4	電子音

■演出音が気になる場合は

演出音を再生させない場合は、演出音選択ツマミを押してください。演出音選択ツマミを押すと、演出音ランプが消灯し、演出音が止まります。再度、演出音選択ツマミを押すとランプが点灯し、演出音が再生されます。



メモ

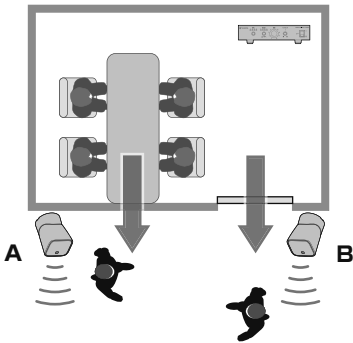
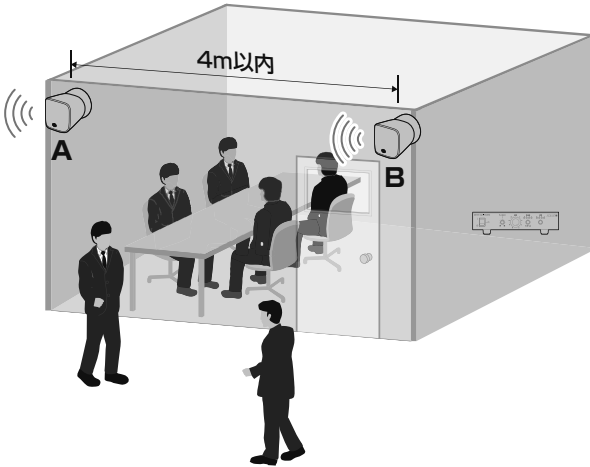
- BGM を流している環境では、本製品の演出音を切ることをお勧めします。
- 演出音の切／入は電源を切っても前の状態を記憶しているため、再度電源を入れると切ったときの設定になります。
- 音色、演出音の各ツマミは誤動作防止のため、同じ回転方向に 2 クリック回すと切り替わります。

6. 設置する

■設置シーン①

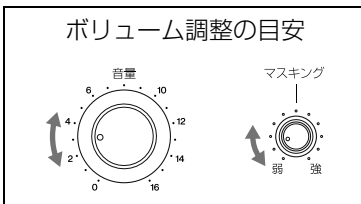
会議室→通路（1方向）

会議の内容が、外に漏れ聞こえるのを防ぎます。



VSP-CU2 : 1台
スピーカー : 2台

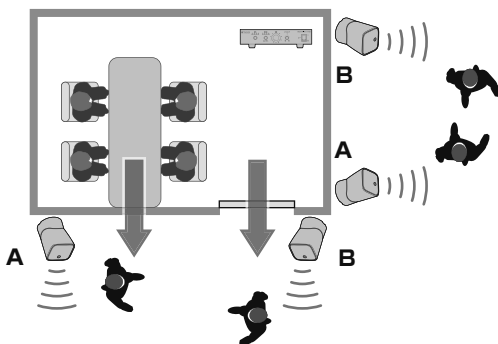
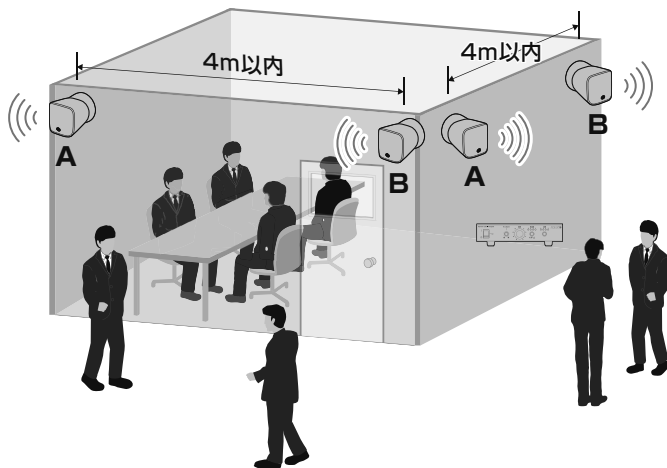
- ・漏れ聞こえさせたくないエリア（通路）にスピーカーを2台設置します。
- ・スピーカー同士の間隔が4m以内になるように設置します。



■設置シーン②

会議室→通路（2方向）

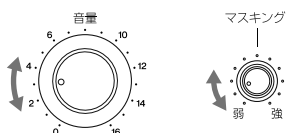
会議の内容が、外に漏れ聞こえるのを防ぎます。



VSP-CU2：1台
スピーカー：4台

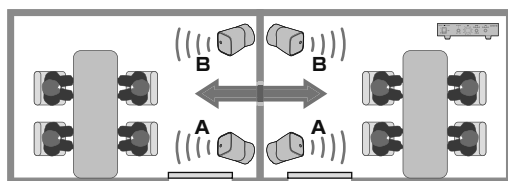
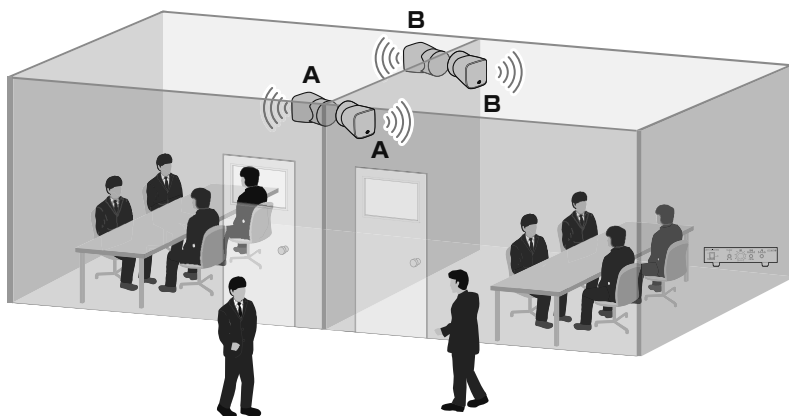
- 漏れ聞こえさせたくないエリア（2方向の通路）にスピーカーを2台ずつ設置します。
- スピーカー同士の間隔が4m以内になるように設置します。
- スピーカーAとBは交互になるように配置します。

ボリューム調整の目安



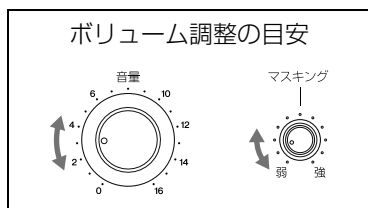
■設置シーン③

会議室⇄会議室（相互）



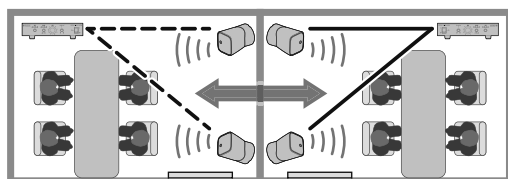
VSP-CU2 : 1 台
スピーカー : 4 台

- 漏れ聞こえさせたくないエリア（両会議室内）にスピーカーを2台ずつ設置します。
- スピーカーは隣の会議室との間仕切付近に取り付けます。
- スピーカー同士の間隔が4m以内になるように設置します。



メモ

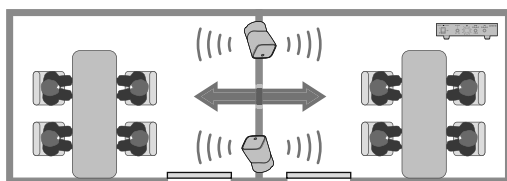
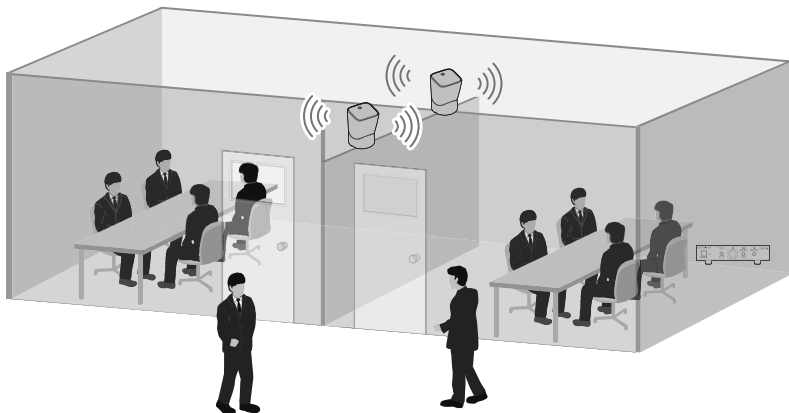
- VSP-CU2 が2台あれば、それぞれの部屋で異なるマスキング設定（音量・音色・演出音）ができます。



VSP-CU2 : 2 台
スピーカー : 4 台

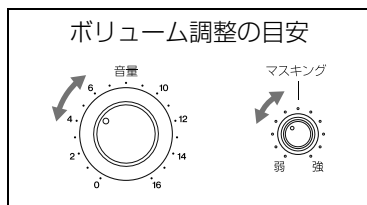
■設置シーン④

会議室⇄会議室（相互）※ 欄間オープンの場合



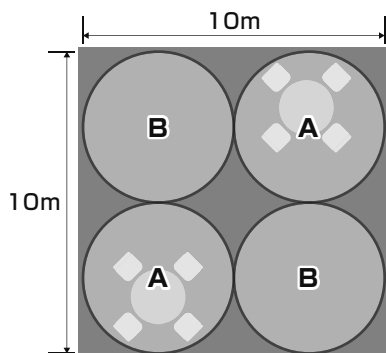
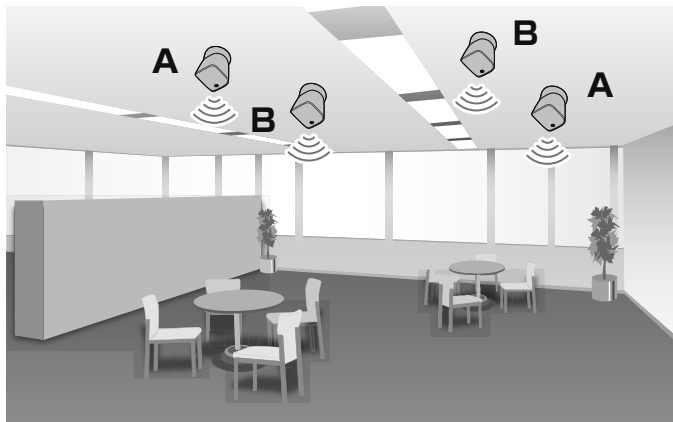
VSP-CU2 : 1 台
スピーカー : 2 台

- 相互を仕切っている欄間に、天井向きにスピーカーを2台設置します。
※ 欄間にスピーカーが取り付けられない場合は、設置シーン③と同じように片面に2台ずつ設置します。
- スピーカー同士の間隔が4m以内になるように設置します。



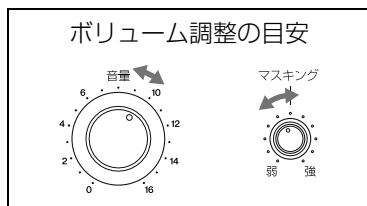
■設置シーン⑤

オープンスペース



VSP-CU2 : 1 台
スピーカー : 4 台

- スピーカーを天井に設置します。
- スピーカー A と B は対角線上に配置します。
- 天井の高さが 3m の場合、スピーカー 1 台でマスキング効果が得られるのは直径約 5m の範囲になります。
- スピーカー 4 台を均等に配置すると、およそ 10m×10m の範囲でマスキング効果が得られます。



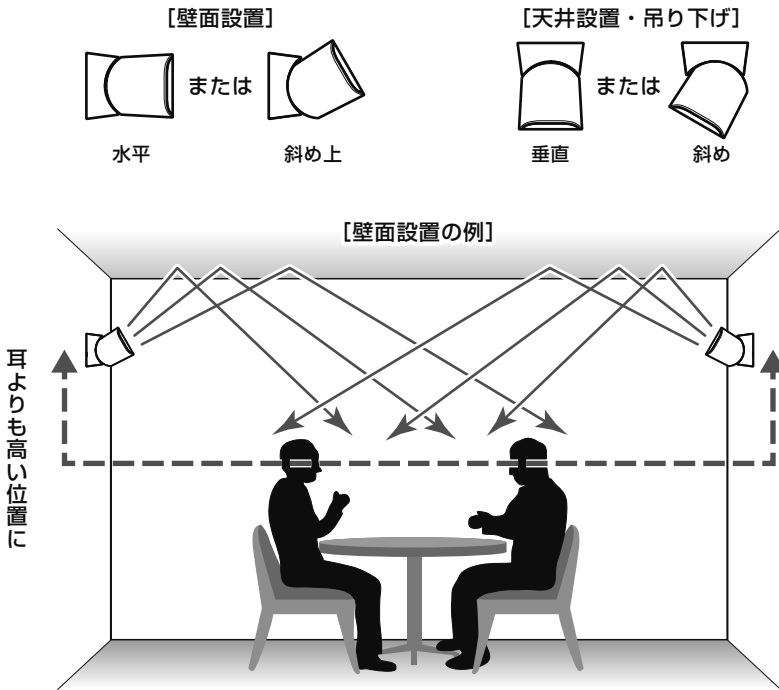
メモ

- 照明レールがあれば、スピーカーに同梱されているレールマウントアダプターを使用することで、レールに取り付けができます。

スピーカーの取り付け位置・向き

人に対して直接ではなく、なるべく間接的に音が届くようにスピーカーを設置してください。

- 壁面設置：人の耳よりも高い位置に、水平または斜め上向きに取り付けます。
- 天井設置・吊り下げ：垂直または斜め方向に角度をつけ取り付けます。



セットアップ

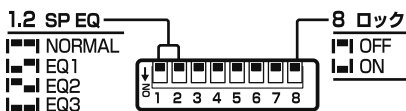
⚠ 注意

- 壁や天井にスピーカーを設置する際は、取り付ける場所に十分な強度があることを確認してから取り付けを行ってください。スピーカーの落下による破損や怪我のおそれがあります。

スピーカーの取り付け位置による EQ 設定について

VSP-CU2 では、スピーカーの取り付け位置に応じて適切な EQ を設定することで、安定したマスキング効果が得られます。

SETUP



■SETUP 1,2 SP EQ

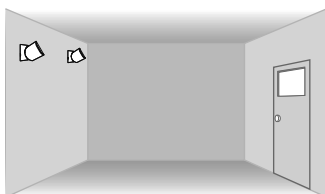
NORMAL : スピーカーを壁面に設置する場合

EQ1 : スピーカーを天井面に設置する場合

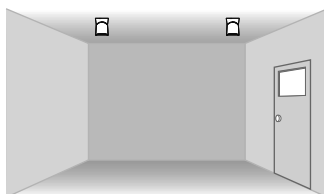
EQ2 : スピーカーを部屋のコーナー部分に設置する場合

EQ3 : スピーカーを壁から離して設置する場合 (吊り下げなど)

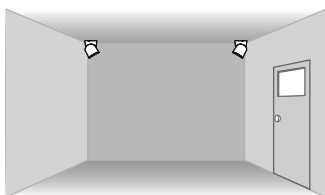
NORMAL



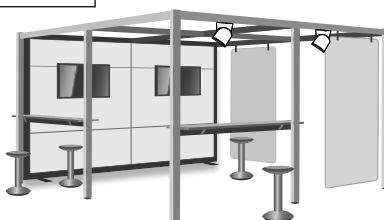
EQ1



EQ2



EQ3



設定をロックする（ロック機能）

誤って操作しても設定が切り替わらないように設定をロックすることができます。

ロックをかけるには

ロックをかけるとメインボリューム、マスキングボリューム、音色・演出音選択 ツマミの操作を行っても設定が切り替わらなくなります。

メモ

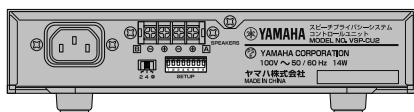
- ロック時でも電源のオン／スタンバイ、EQ 選択スイッチは切り替えることができます。

解除するときには

1 背面 セットアップスイッチの8pinをオフにする。

ロックが解除されます。
メインボリューム、マスキングボリュームはロック解除時点のつまみ位置で出力されます。

1 背面 セットアップスイッチの8pinをオンにする。



ロックがかかります。ロック時は、電源ランプ以外は消灯します。ロック時に、メインボリューム、マスキングボリューム、音色・演出音選択 ツマミを操作すると、ランプが5秒間点滅します。

メモ

- ロック状態で電源をスタンバイにして再度電源をオンにしてもロック状態を継続します。

故障かな？と思ったら

お問い合わせになる前に

「取扱説明書」をもう一度ご確認ください。

本書の内容をご覧になり、問題が解決できるかどうかご確認ください。それでも問題が解決しない場合は、サポート窓口までご相談ください（30 ページ）。

ランプ類に問題がある

症状	原因	対策
ランプが1つも点灯しない	電源スイッチがスタンバイになっている	電源スイッチをオンにして、電源を入れる
	AC インレットに電源コードが接続されていない	本製品のAC インレットに電源コードを正しく接続する
	電源コードがコンセントに接続されていない	コンセントから外れているときは、正しく差し込み直す
	主ブレーカーや配線別ブレーカーが切れている	ブレーカーが「切」になっている場合は、「入」にする ブレーカーが「入」になっている場合は、一度「切」にしてから「入」にし直す
	停電している	停電中は、復旧するまで待つ
コンセントに電気が来ていない（他の電気製品も使えない）	他の製品が動かないときは、コンセントや電気配線の修理を依頼する 他の製品が動くときは、本製品の修理を依頼する	

音に問題がある

症状	原因	対策
音が出ない	音量が最小になっている	音量を上げる
演出音が出ない	演出音がオフになっている	演出音選択ツマミを押してオンに切り替える
効果が分かるまで音量を上げたらうるさい	話者の声が大きすぎる	話者は声を小さくする
	効果を期待する範囲が広すぎる	本製品（スピーカー）の台数を増やす
以前よりうるさくなった	機器の設置場所が変わっている	正しい設置状態にする
	周りの騒音が小さくなっている	必要に応じて音量を再設定する
	スピーカーの数と設定スイッチが異なる	スイッチを正しい設定状態にする
演出音がうるさい	複数台から演出音が出ている（本製品を複数台使っている場合）	演出音をオンにする台数を少なくする
音色やボリュームが突然変わった	誰かがボタンやツマミを触った	ロック機能を使用する
音量が変わらない	ロック機能が設定されている	ロック機能を解除する
音色が変わらない	ロック機能が設定されている	ロック機能を解除する
演出音がオン／オフできない	ロック機能が設定されている	ロック機能を解除する

マスキング効果が得られない

症状	原因	対策
話者の話の内容がわかる	本製品の音量の設定が適切でない	本書の手順にしたがって音量を設定する
	話者の声が大きすぎる	話者は声を小さくする
	効果を期待する範囲が広すぎる	本製品(スピーカー)の台数を増やす
以前より効果が悪くなった	スピーカーが物で隠れている	スピーカー前面に物を置かない
	スピーカーの向きや場所が変わっている	正しい設置状態にする

主な仕様

外形寸法：

214.6 x 55.1 x 288.4 mm
(ノブ、ゴム脚を含む)

質量：

本体 1.8kg

電源：

AC100V (50/60Hz)

消費電力：

最大 14 W

動作環境：

動作温度 :0 ~ 40℃

動作湿度 :15 ~ 80% (結露しないこと)

対応スピーカー：

VSP-SP2

付属品：

電源コード、取扱説明書 (保証書含む)

サポート窓口のご案内

本製品に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

ヤマハ スピーチ プライバシー システム お客様ご相談センター

TEL : 03-5651-1839

ご相談受付時間

9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00 (土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

本製品の保守サービスについて

保証期間

ご購入から 1 年間です。

保証書について

保証書をお受取りの際は、お買い上げ年月日・販売店などを必ずご確認の上保管してください。万一紛失なさいますと、保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。

保証期間中の修理

保証期間中に万一故障した場合には、ご購入の販売店または上記お客様ご相談センターまでご連絡の上、製品をご送付ください。その際必ず保証書を同封してください。

保証期間後の修理

保証期間終了後の修理は有料となりますが、引続き責任をもって対応させていただきます。ご購入の販売店または上記お客様ご相談センターまでご連絡ください。ただし、修理対応期間は製造打ち切り後 5 年間です。

本製品を修理等の理由により輸送される場合には、音量や音色などの設定を記録されることをお勧めします。修理の内容によっては、設定を工場出荷時の状態にさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

無償修理規定

1. 正常な使用状態（取扱説明書などの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買い上げ販売店にご依頼できない場合には、取扱説明書に記載されているヤマハサービス窓口にお問合せください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書に、お買い上げの年月日、お客様、お買い上げの販売店の記入がない場合、および本書の字句を書き替えられた場合。
 - (3) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (4) お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - (6) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。_This warranty is valid only in Japan.
6. この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
 - ※ この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を規制するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書に記載されておりますヤマハサービス窓口までお問い合わせください。
 - ※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控え）は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証期間経過後の修理について

修理可能な部分は、ご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、修理料金の金額や補修部品の保有期間の都合により、相当品の代替購入をおすすめする場合がございます。

- 本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の内容および本体の仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります。
- 保証は本製品の物損の範囲に限ります。あらかじめご了承ください。

保証書

持込修理

このたびはヤマハスピーチ プライバシー システムをお買い上げ戴きましてありがとうございました。
本書は、本書に記載の償修理規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お
買い上げの日から下記期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買い上げの
販売店に修理を依頼ください。

品名 スピーチ プライバシー システム 品番 VSP-CU2 製造番号
トロールコード

お客様
ご住所 〒 名
番 ()

販売店 / 住所 / 電話番号

お買い上げ日 年 月 日 お買い上げ日から年間です。

※ 保証書は、「お買い上げ年月日」が確認できるレシートと一緒に大切に保管してください。

ヤマハ株式会社
〒 430-8650
静岡県浜松市中区中沢町 10-1

お問合せ先
ヤマハ スピーチ プライバシー システム
お客様ご相談センター

TEL 03-5651-1839

ご相談受付時間

9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は
休業とさせていただきます。)

Manual Development Group
© 2019 Yamaha Corporation
2019年4月発行 HS-A0